

第8回 植草学園 高校生 プレゼンテーションコンテスト2025 を開催しました!

緑栄祭（学園祭）第1日目となる令和7年11月8日（土）に、本学主催の
「第8回 植草学園 高校生プレゼンテーションコンテスト2025」を開催しました。

このコンテストは、高校生の柔軟な発想や地道な活動に光を当て、その思いや活動の成果を発表する場を提供することで、高校生の主体的な活動や学習の支援、望まれる未来の創造に繋げることを目的としています。

8回目となる今年度のテーマは、「理想の共生社会をめざして ～共感力が創る未来の社会：相手の気持ちを理解する～」です。

県内外から集まった15校16組の個人・団体による発表者が、テーマに沿って各自が自由にテーマを設定し、ひと組7分以内という限られた時間に思いを込め、創意工夫にあふれたプレゼンテーションを行いました。

厳正な審査の結果、銚子市立銚子高等学校が、見事グランプリに輝きました。
テーマは「地域社会と繋がる DELKUI となれ ～同情と共感、その先へ～」。



《グランプリ受賞者》

銚子市立銚子高等学校 2年

名雪 奏さん、伊豫 凜香さん、阿部 彩佳さん、溝口 創天さん

《第8回 植草学園 高校生プレゼンテーションコンテスト 2025 入賞校》

グランプリ	銚子市立銚子高等学校 地域社会と繋がる DELKUI となれ ～同情と共感、その先へ～
準グランプリ	佼成学園高等学校 AI と共感力教育
準グランプリ	雲雀丘学園高等学校 五感でつながる子どもたち ―高校生のまなざしから未来へ
優秀賞	千葉県立千城台高等学校 「mazekoze マゼコゼ」 それぞれの活躍の場を探す
優秀賞	植草学園大学附属高等学校 共感が広げる自由な社会
奨励賞	N 高等学校 子どもの声に耳を傾けて、未来を「ちょっと」変える共感の力
奨励賞	愛知教育大学附属高等学校 言語の壁を越えて伝わる思い
奨励賞	市立札幌開成中等教育学校 日本社会における同調圧力を感じないグループとは
審査員特別賞	神奈川県立神奈川工業高等学校 ものづくり体験教室を運営して共感を育て、障がい者の工賃向上へ

当日は、本学発達教育学部3年生の三原 蒼大さん、小平 翔太さんが司会進行を担当しました。

地域連携推進室 高大連携担当